

令和2年度

小樽地区の巻

事務局 小樽市立手宮中央小学校



〈小樽市 運河からみる市街地〉

小樽市小学校長会は、市内17校の校長で組織されている。今年度は、転入2名、採用2名の新会員を迎え、4月7日に総会を開催し、活動方針や予算を決定するとともに、新年度の役員を選出した。

I 本年度の活動方針

小樽市小学校長会は、小樽市教育推進計画の基本理念である「主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人づくり」の実現を目指すため、校長としての使命と責任の重要性を自覚し、職能の向上に努めるとともに、小樽市民の負託と家庭・地域の信頼に応えることのできる小学校教育の推進及び小樽市の教育振興に寄与することをめざして活動している。

これまで本会は、年度の重点施策と小樽市校長会として掲げる共通目標の実現を活動の中心に据えながら、組織的に取組を進め、成果を上げてきた。

とりわけ、中学校長会と連携した「小中一貫教育の推進」と「次代を担う人材育成」については、市内の小中学校が一体となった取組を進めることができた。さらに、令和2年度からの新学習指導要領全面実施に伴う教育課程の編成や通知表の作成では、小樽市教育委員会の指導のもと、本会事務局が中心となって情報発信、情報共有を行うことにより、各校の自主性を尊重しながらも、瑕疵なく準備を進めることができた。

今後も、われわれは、地域と連携・協働しながら多様な社会的変化を乗り越える力を育む学校教育を確立するために、強い使命感とリーダーシップを持って学校改善に努めなければならない。

また、後志教育局や市教委等、教育関係機関との連携を深め、課題の本質を的確に捉え、会員への適切な情報提供と相互の意見交換等を大切にしながら、小樽市中学校

長会と一体となって課題に対応していくことができるよう組織的かつ機能的な校長会の運営に努めていかななくてはならない。

われわれは、今年度も重点施策を中心に据えながら、複雑化・多様化する教育課題に対して、校長自ら研鑽に励み、「働き方改革」の視点を持ちながら全教職員が協働して組織的に対応できる体制を整備し、活力に満ちた学校づくりを進めるとともに、新学習指導要領の進行管理やコミュニティスクールの取組、小中一貫教育の推進など、新たな課題とも向き合い、その解決に向けて英知を結集して取り組んでいく。

II 活動の重点

1 活動方針

- ①校長として、その責務を自覚し、学校経営の充実に資する研究活動を推進し、学校経営の専門職としての職能の向上に努める。 **研究・職能向上**
- ②教育関係機関及び中学校長会との密接な連携を図り、教育課題を迅速・的確に把握し、総力を結集して課題解決にあたる。 **連 携**
- ③本市教育の喫緊の課題の改善を図る取組を組織的に進めるとともに、新学習指導要領の全面実施を円滑に進める。 **学習指導要領**
- ④中学校長会と連携し、校長会として教頭等の学校マネジメント能力を高める研修の機会を充実させ、次世代を担うスクールリーダーの育成を図る。 **人材育成**

⑤関係機関との連携を密にし、災害等に備えた危機管理体制の整備・充実に努める。**危機管理**

⑥「小樽市立学校における働き方改革行動計画」を踏まえ、子どもと向き合う時間を確保し、教職員の心身の健康を維持するため、効率的な学校運営をめざす取組を進める。

働き方改革

⑦組織機構や業務のスリム化を図り、一層活力ある校長会組織への改変を進める。**組織改善**

2 重点施策

①中学校長会と連携した共通目標（共通の取組）の推進

②令和2年度道小オホーツク・北見大会（文書）に向けた共同研究体制の構築と研究推進

③小樽市における「コミュニティ・スクール」や「働き方改革」の取組の推進

④会員数に見合った小学校長会の組織体制や運営の改善

⑤次世代を担う教職員の資質・能力の向上と管理職人材の確保・発掘

Ⅲ 各部の活動方針

1 組織部

子どもが安心して日常生活を送ることのできる安全な環境をつくるため、小・中・高校及び関係諸団体などとの連携を密にし、子どもたちの健全育成並びに教育環境の充実や学校経営の改善に資する業務推進に努める。

2 研修部

全連小及び道小の教育研究大会に関する活動や学校経営に関わる研修活動の推進を通して、校長としての一層の職能向上を図る。

3 厚生部

小樽市小学校長会の方針に基づき、学校給食及び学校保健・安全の向上を図るとともに、会員及び教職員の福利厚生の実と親睦に努める。

Ⅳ 役員

会 長 木村 俊夫（花園小）

副 会 長 大坂 充（稲穂小）

銭谷 美毅（奥沢小）

監 査 鈴木 喜代志（桂岡小）

加藤 達子（張碓小）

事務局 長 谷本 慎司（手宮中央小）

会 計 遠藤 隆典（朝里小）

組 織 部 長 古田 優子（望洋台小）

研 修 部 長 堀 智行（塩谷小）

厚 生 部 長 加藤 達子（張碓小）

